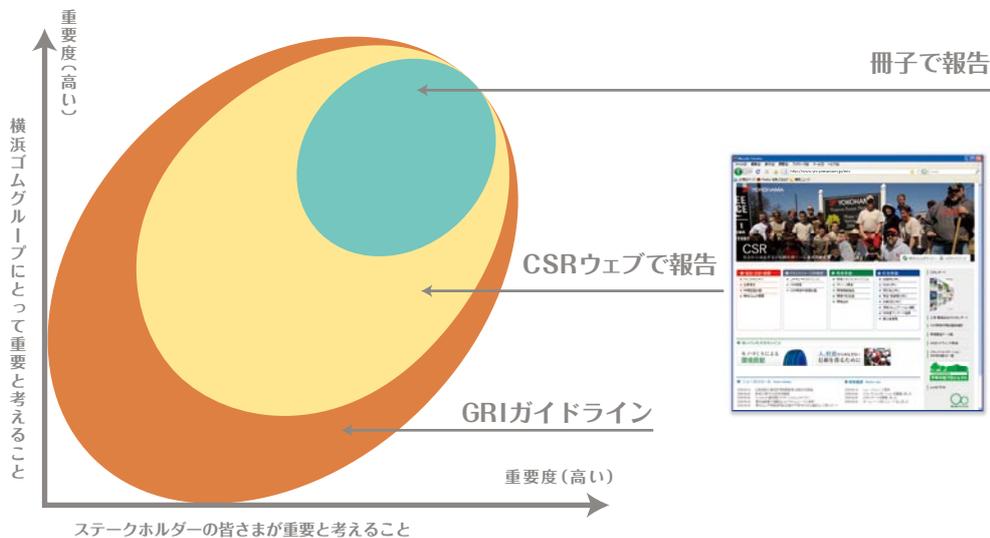


冊子は皆さまに知っていただきたいこと、 CSRウェブは詳細な情報を掲載しました



冊子とCSRウェブに分けて情報開示

横浜ゴムは2008年まで、経済・環境・社会の各側面を紹介するため、冊子(CSRレポート)を作成し、同冊子のPDFをウェブに掲載してきました。しかし2009年からは冊子とウェブを使い分け、詳細な情報をCSRウェブに、ステークホルダーに知っていただきたい情報を分かりやすくまとめて冊子に掲載することとしました。

結果、GRIガイドラインへの適応項目は70%であることを確認しました(詳細はCSRウェブ掲載のGRIガイドライン対照表参照)。この検証を踏まえ、各部門が報告すべき内容を取りまとめ、その情報を基に、CSR・環境情報委員会内に置かれたCSRレポート編集会議の責任によって編集作業を行いました。

GRIガイドラインを用い自己検証

2009年の報告に当たって、最初に「GRIガイドライン2006(第3版)」を用いてグループ会社を含めた事業活動全般に渡る自己検証を行いました。CSR本部長を委員長とし、複数の管理部門長によって構成されたCSR・環境情報委員会の指示の下、生産、販売、管理の各部門が検証した

重要性の判断基準

冊子編集に当たっては、CSR活動のテーマを極力絞り込み、
①モノづくりによる環境貢献
②人、社会からゆるぎない信頼を得る
の2点に決めました。テーマ決定に当たっては、社内各部門の意見、過去のCSRレポートのアンケート結果、生産事業所の地域住民の皆さまのご意見、社外有識者のアドバイスなどを参考にしました。

■情報の報告期間

2008年度(2008年4月～2009年3月)。大きな進捗があったものは2009年7月までの状況を記載しています。

■報告範囲

横浜ゴムおよび国内外グループ会社

<経済側面>

横浜ゴムおよび連結対象子会社

<環境側面>

横浜ゴムの国内8生産事業所。その他、国内外のグループ会社についてその一部データを記載しています。

<社会側面>

横浜ゴムの本社、国内8生産事業所および国内外グループ会社の取り組みの一部を掲載しています。

*報告範囲は2008年版「CSRレポート」に比べ大幅な変更はありません。

■参考にしたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2007年版)」

GRIガイドライン2006(第3版)

*GRI=Global Reporting Initiative

■報告書の発行

年1回(毎年9月)

■報告書の編集責任

CSRレポート編集会議

■ホームページ掲載資料

(<http://www.yrc-pressroom.jp/csr>)

見直しに関する注意事項

本報告書の記載内容には、現在の事実だけでなく、将来の予測、計画、目標などが含まれています。これらは現時点(2009年7月)で入手できた情報に基づく仮定ないし判断であり、不確実性が含まれています。実際のパフォーマンスは、横浜ゴムグループの事業活動だけでなく、世界経済の動向、地球環境の変化などに影響を受けるため、本報告書に記載した予測、計画、目標が実際とは異なる可能性があります。読者の皆さまには、このことをご承知おき下さいますようお願い申し上げます。